

令和 8 年 9 月 1 日

日本数学会 男女共同参画社会推進委員会

日本数学会 男女共同参画社会推進に向けた状況調査アンケート

実施報告

令和 7 年 6 月 1 日から 6 月 30 日に実施しました「令和 7 年度 日本数学会 男女共同参画社会推進に向けた状況調査アンケート」の結果を報告いたします。

本アンケートは、2022 年 5 月 21 日に定めた「ダイバーシティ・インクルージョン基本方針」の周知と、各分科会における実情を調査することを目的とし、以下の通り実施いたしました。

[実施概要]

1. 調査対象
日本数学会 全会員
2. 調査方法
日本数学会男女共同参画社会推進委員会が主催し、日本数学会ニュースレター等で、各分科会へのアンケート回収への協力依頼を行い、グーグルフォームによりアンケートを収集した。
3. 調査時期
2025 年 6 月 1 日から 6 月 30 日
4. 調査結果の公開
各設問(自由記述を除く)の回答を男女共同社会推進委員会のページにて公開。

[質問項目とアンケート結果]

有効回答数は 228 件

設問 1 の回答

設問 1:

所属する分科会を選択ください。

Please select your affiliated subsection:

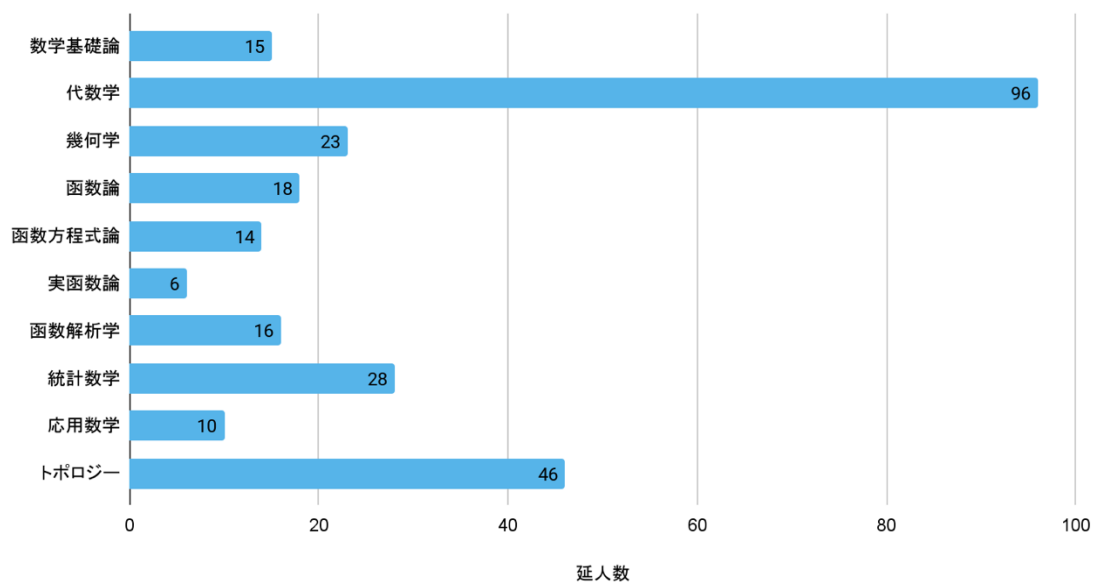
※複数項目を選択可

- 数学基礎論 / Foundation of Mathematics and History of Mathematics
- 代数学 / Algebra
- 幾何学 / Geometry
- 函数論 / Complex Analysis

- 函数方程式論 / Functional Equations
- 実函数論 / Real Analysis
- 函数解析学 / Functional Analysis
- 統計数学 / Statistics and Probability
- 応用数学 / Applied Mathematics
- トポロジー / Topology

複数回答を認めているため、回答数は延人数で示している。

所属する分科会



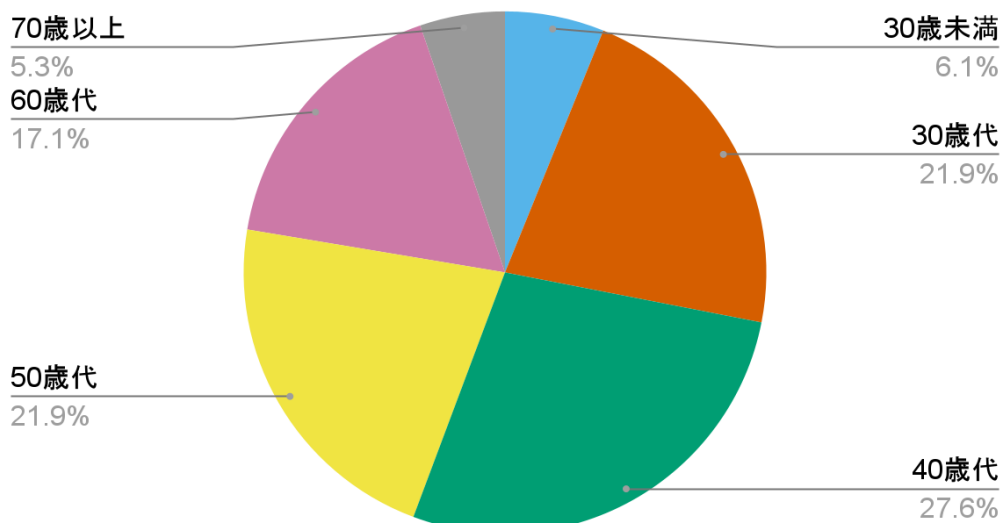
設問 2 の回答

設問 2:

年代 / Age Group

1. 70 歳以上 / 70 years old or over
2. 60 歳代 / 60-69 years old
3. 50 歳代 / 50-59 years old
4. 40 歳代 / 40-49 years old
5. 30 歳代 / 30-39 years old
6. 30 歳未満 / under 30 years old

年代



設問 3 の回答

設問 3:

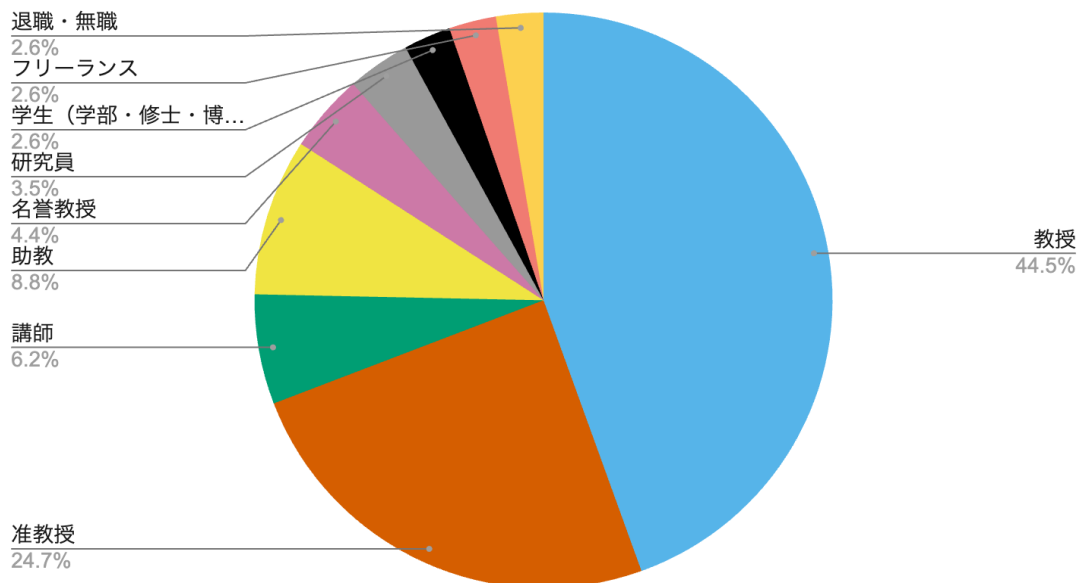
職名(学年) / Position (Year)

(自由記述)

自由記述で記述内容が分かれたため、以下にまとめた.

- (まとめた後の職名): (実際に記入された職名)
- 教授: 教授、特任教授、prof., Professor, P,
- 准教授: 准教授、Associated professor, Associate Professor, AP,
- 講師: 講師、専任講師、非常勤講師、
- 助教: 助教、特任助教、
- 名誉教授: 名誉教授
- 研究員: postdoc, 特別研究員、Technology Manager, 学術研究員、博士研究員、理学部教育研究協力員、客員研究員、
- 学生(学部・修士・博士): 学部生、修士 2 年、D1, 博士 1 年、博士 2 年、博士後期課程 3 年
- フリーランス: フリー
 - 「フリー」と「無職」の区別があいまいだったが、「無職」とは分けることにした.
- 退職・無職: 無職、無職(定年退職)、なし、退職教授

職名



設問 4 の回答

設問 4:「ダイバーシティ・インクルージョン基本方針」の認知度

日本数学会は数学の研究を盛んにし、またその普及をはかり、学術文化の向上発展に寄与することを目的とする法人です。数学者がその能力を十分に発揮し、数学研究をより一層促進することができるよう、ダイバーシティ(多様性)の尊重とインクルージョン(包摂性)のさらなる推進が重要であるとの認識に立ち、「ダイバーシティ・インクルージョン基本方針」を定めまし

た。(https://www.mathsoc.jp/assets/pdf/activity/statement/DIP_20220521.pdf). この基本方針について該当するものを選択ください。

The Mathematical Society of Japan is a corporation aimed at promoting mathematical research, disseminating mathematical knowledge, and contributing to the advancement of academic culture. Recognizing the importance of respecting diversity and further promoting inclusion to enable mathematicians to fully utilize their abilities and further advance mathematical research, we have established the "Basic Policy on Diversity and Inclusion."

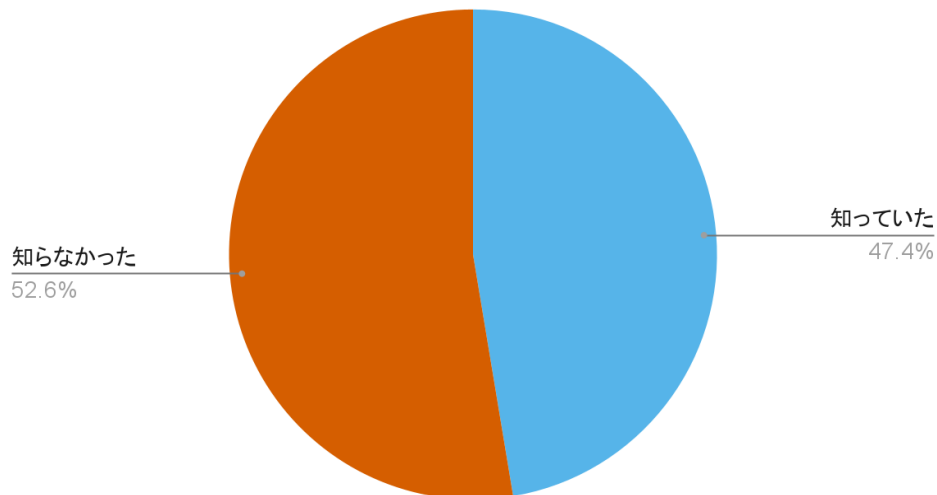
Basic Policy on Diversity and Inclusion

(https://www.mathsoc.jp/assets/pdf/activity/statement/DIP_20220521.pdf).

Please select the appropriate response regarding this policy:

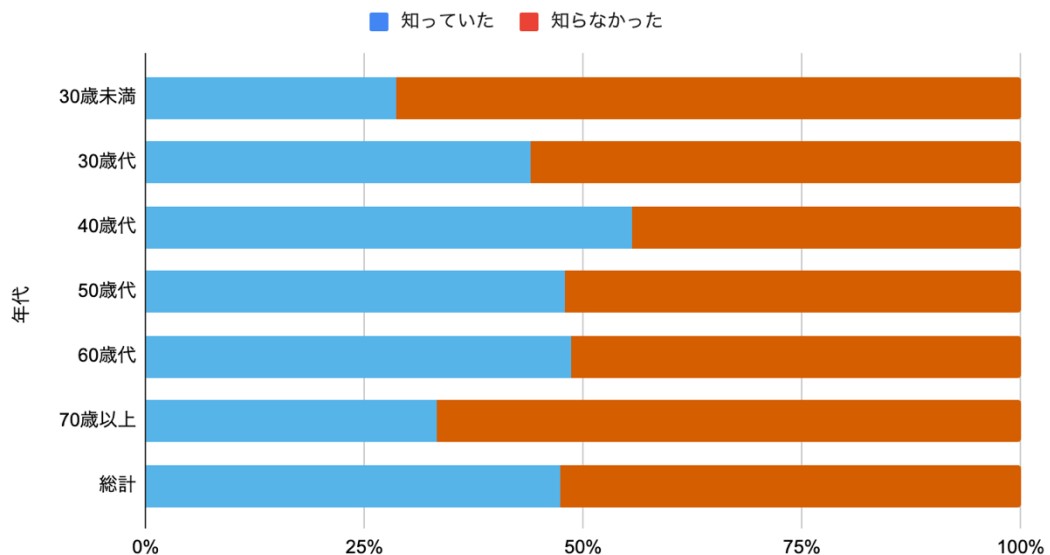
1. 知っていた / I was aware of it.
2. 知らなかった / I was not aware of it.

「ダイバーシティ・インクルージョン基本方針」の認知度



回答者の年代別（設問 2）にクロス集計を行った結果は以下の通り。

「ダイバーシティ・インクルージョン基本方針」の認知度（年代別）



設問 5 の回答

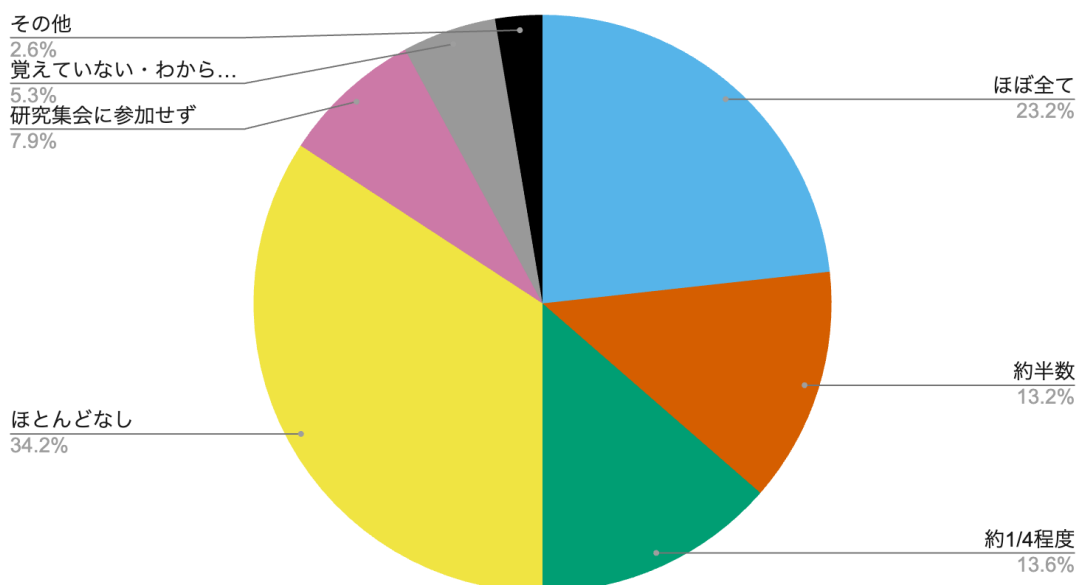
設問 5: 令和 6 年度に参加した研究集会において行動規範を共有されたものの割合

R6 年度に参加した研究集会において, 参加登録または, 研究集会の案内の際に, 行動規範を共有されたものの割合を回答ください。

Regarding the proportion of research meetings you attended in FY 2024 (R6) where a code of conduct was shared during registration or in the event announcements, please select the most appropriate response:

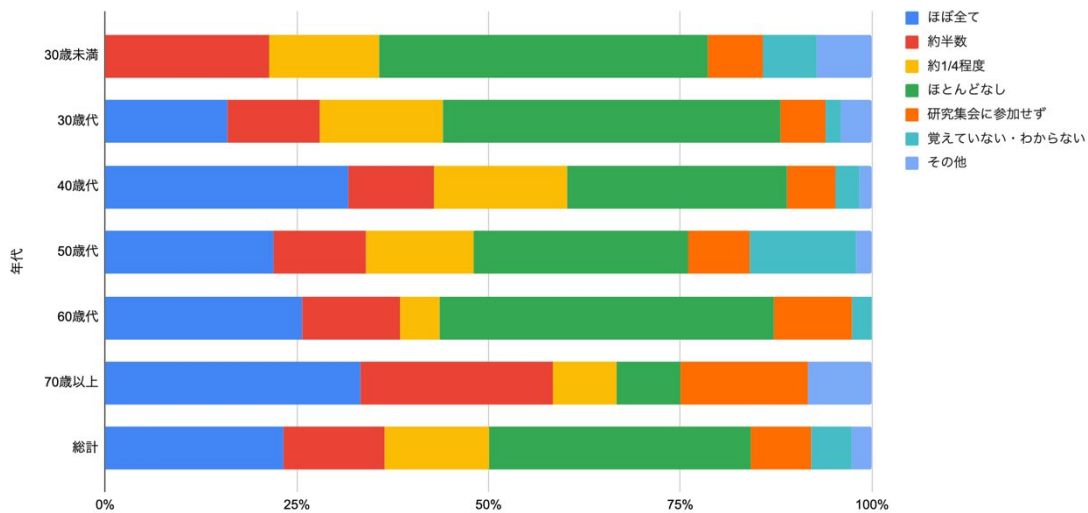
1. ほぼ全ての研究集会で行動規範が共有された / A code of conduct was shared at almost all research meetings I attended.
2. 約半数の研究集会で行動規範が共有された / A code of conduct was shared at about half of the research meetings I attended.
3. 約 1/4 程度の研究集会で行動規範が共有された / A code of conduct was shared at about a quarter of the research meetings I attended.
4. ほとんどの研究集会で行動規範は共有されなかった / A code of conduct was rarely shared at the research meetings I attended.
5. R6 年度は, 研究集会に参加しなかった / I did not attend any research meetings in FY 2024 (R6).
6. その他(自由記述)

R6年度に参加した研究集会において行動規範を共有されたものの割合



回答者の年代別(設問 2)にクロス集計を行った結果は以下の通り。

R6年度に参加した研究集会において行動規範を共有されたものの割合（年代別）



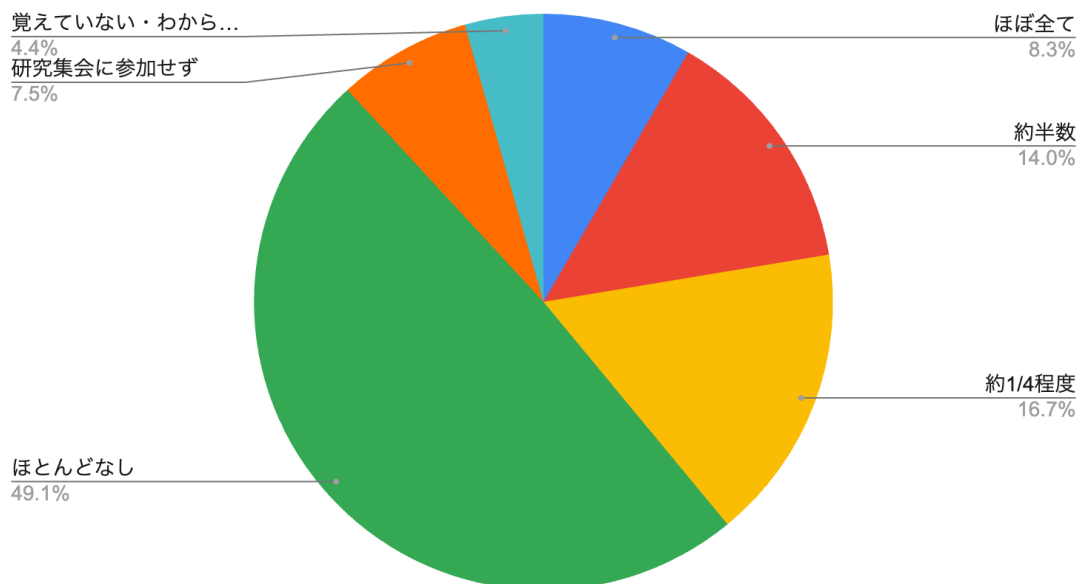
設問 6 の回答

設問 6: 令和 6 年度に参加した研究集会において、保育室の設置について案内があった割合
R6 年度に参加した研究集会において、保育室の設置について案内があった割合を回答ください。

Regarding the proportion of research meetings you attended in FY 2024 (R6) where information about childcare facilities was provided, please select the most appropriate response:

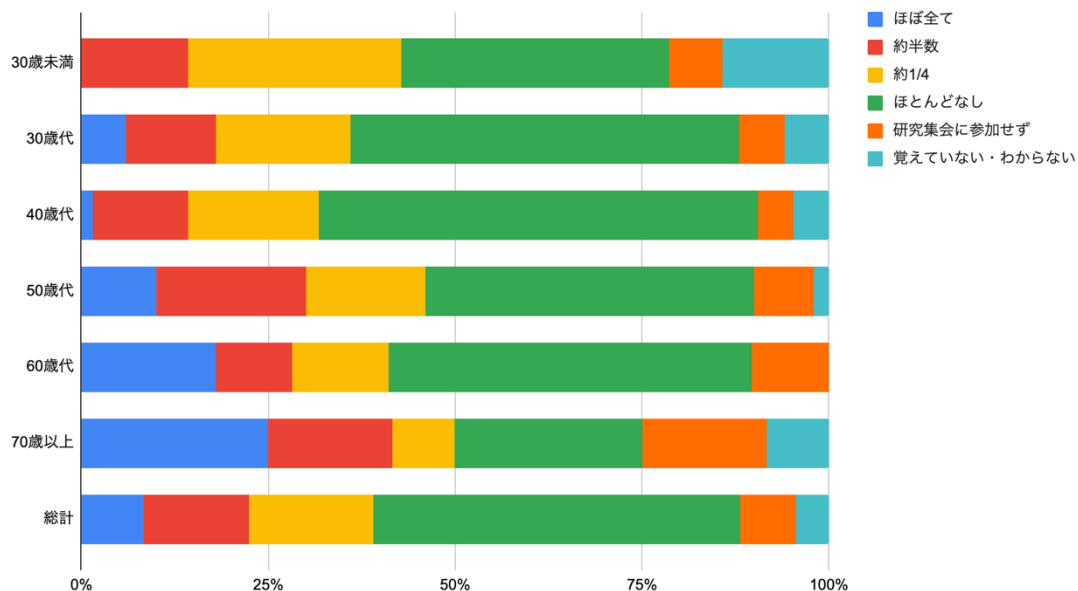
1. ほぼ全ての研究集会で保育室設置について案内があった / Information about childcare facilities was provided at almost all research meetings I attended.
2. 約半数の研究集会で保育室設置について案内があった / Information about childcare facilities was provided at about half of the research meetings I attended.
3. 約 1/4 の研究集会で保育室設置について案内があった / Information about childcare facilities was provided at about a quarter of the research meetings I attended.
4. ほとんどの研究集会で保育室設置について案内がなかった / Information about childcare facilities was rarely provided at the research meetings I attended.
5. R6 年度は研究集会に参加しなかった / I did not attend any research meetings in FY 2024 (R6).
6. その他(自由記述)

R6年度に参加した研究集会において、保育室の設置について案内があった割合



回答者の年代別(設問 2)にクロス集計を行った結果は以下の通り。

R6年度に参加した研究集会において、保育室の設置について案内があった割合 (年代別)



以上.

最後になりましたが、アンケートにご協力いただきありがとうございました。日本数学会 男女共同参画社会推進委員会では引き続き男女共同参画社会推進への取り組みを進めて参ります。ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。